

旧石器時代の暮らし 今から約30,000～12,000年前

旧石器時代の特徴

- ・氷河時代
- ・ローム層
- ・ナウマンゾウや大型のシカを狩る暮らし
- ・火の使用（礫群）
- ・石や動物の骨を使った道具

約2万年前の高原で生活した跡

おか こうえんだい
丘の公園第2遺跡(北杜市高根町)



ナイフ形石器

標高1,200mの高原に、獣を追って移り住んだ人たちは、ここで石器をつくり、調理をした跡（礫群）を残していました。

ナウマンゾウの化石を発見

あにがわ
兄川(山梨市兄川)



ナウマンゾウの歯



発掘調査のようす

兄川からは、ナウマンゾウや大型のシカの化石が見つかっています。旧石器時代では、こうした大型動物を狩猟して生活していました。

県内最古の遺跡から局部磨製石斧が出土

きょくぶ ませいせきふ
よこはりまえくぼ
横針前久保遺跡(北杜市長坂町)

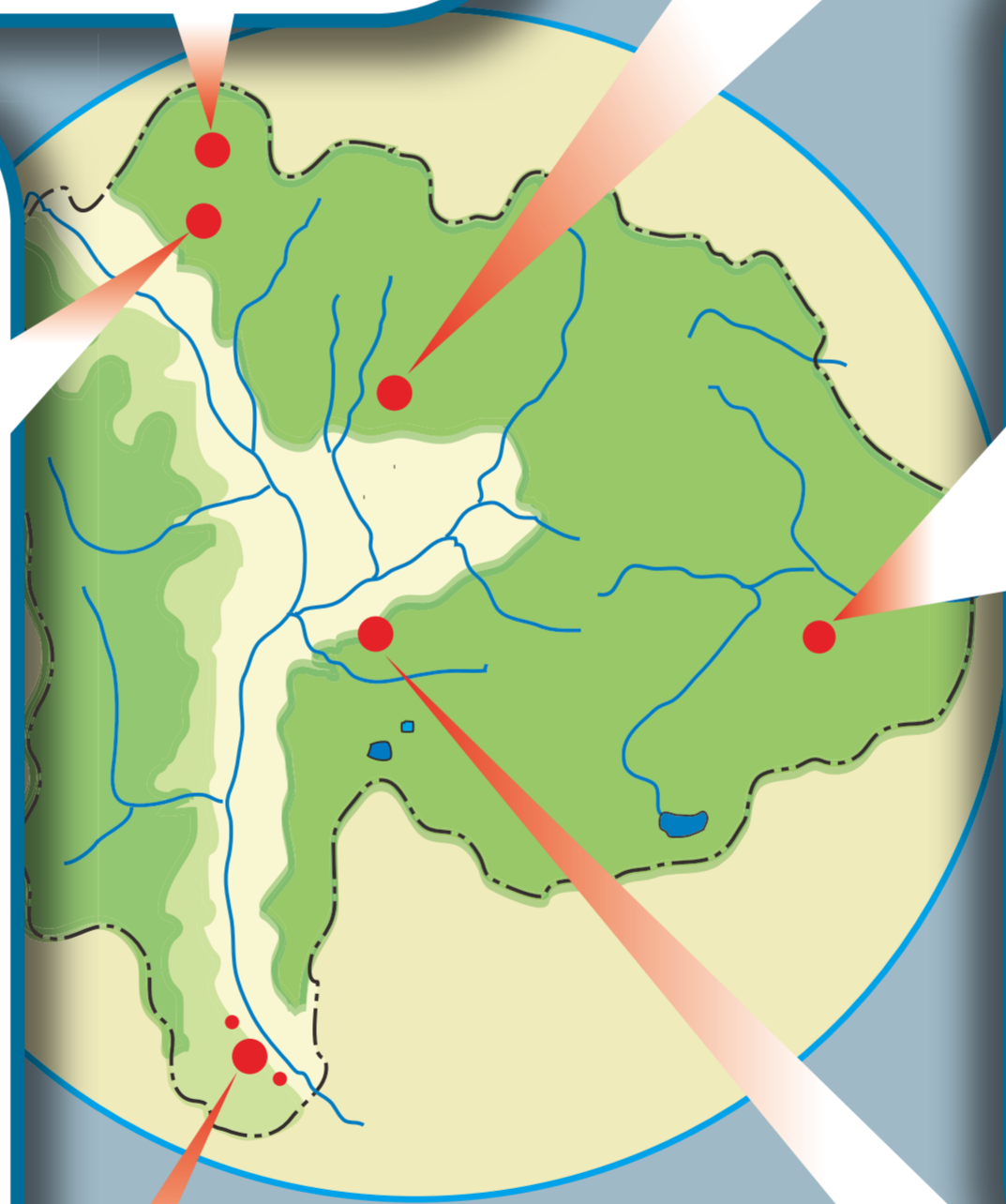


ナウマンゾウの解体



局部磨製石斧

局部磨製石斧とは、石を打ち欠いて作る石斧の、刃の一部を磨いた石器のことで、大型動物の解体に使われたとされています。



石器を作った場所

いっばいくぼ
一杯窪遺跡(都留市大野)



発掘現場の状況



出土した石器

写真は都留市教育委員会提供

石器をつくるのに適した良質な石材があったので、この場所で石器が作られました。

礫群がたくさん発見

てんじんだう
天神堂遺跡(南巨摩郡南部町万沢)



石蒸し焼きの復元

礫群が発見されたようす

礫群とは、火によって赤く焼けたこぶし大の石のまとまりのことで、当時の調理の場です。熱くなった石群の中に葉っぱに包んだ食材を入れて蒸し焼きなどにしたと考えられています。

石器の種類と使い方



れつき
礫器

木を切ったり削ったりする石器



そうき
搔器

動物の皮を柔らかくする石器



最初に山梨に人が住み始めたのは約3万年前？

たていし
立石遺跡(甲府市下向山)



山梨最古の石器

この遺跡は、今から約27,000年前に起こった大噴火の火山灰の層の下から発見され、山梨で最初に人が住み始めた場所と考えられています。